



天目

お布施

〜私にもできること〜

東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、一日でも早く普段の生活に戻れるようお祈り致します。

あの凄まじい光景を目にした時は言葉を失い、本当にここは日本なのかと信じられませんでした。時間が経つにつれ、亡くなられた方、行方不明の方の数は増え続け、そんな時、多くの方は「なにかしなきゃ。なんとかしないと」という感情が自然と湧いてきたのではないのでしょうか。

仏教の教え一つに「布施」とあります。布施はお金を納める行為だけではなく、「無財の七施」といって、お金が必要のないものがあります。その中の「眼施」は優しく温かな眼差しで見つめてあげること。「身施」は困っている人、苦しんでいる人に手を差し伸べてあげること。「房舎施」は雨風をしのげる場所を提供してあげること。そして「心施」は他人や他の存在に対する思いやりの心を持つこと。

「他人は他人、自分は自分」と、人のために何かをする思いやりの心が失われつつあるのではないかと思っていました。しかしあの震災の直後から被災された方々の為に行動しているたくさんの方々の姿を見て「人との繋がりはやっぱりいいな」と改めて思い、この行為がまさに『無財の七施』だということでした。

「私には何も出来ない」と思っている方でも、布施の教えを思い出すことで、遠く離れていても、いつでも誰にでも出来ることだと思えます。しかし一番心配なのは忘れっぽいこと。今だけではなくこれからも継続して持ち続けたい心の一つです。今、出来ることを一つ一つ。それがきつと相手に繋がっていると信じて。

神奈川県海老名市 龍峰寺副住職 大西龍彦

※大西和尚様には「天目」への御賛同をいただき、今号の原稿を執筆していただきました。

東日本大震災殉難者の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

東日本を襲った未曾有の大震災、そして大津波。その映像に日本中が心を痛めたことと思います。この状況には和尚さんだって黙っていません。若手の和尚様が集い、四月十九、二十日・五月一、二日で気仙沼まで復興のお手伝いに行っていました。津波の被害を受けた臨済宗妙心寺派の地福寺さん（写真右下）です。一五〇名の檀家さんがお亡くなりになったそうです。物資を届け、現地では瓦礫の片付け、床下にもぐつての泥のかき出し、砂を被った備品の清掃などをしました。



緊急の物資はかなり行き届いているようですが、復興の為の人手はまだまだ足りていません。今後出来るだけの支援をさせていただきます。檀信徒の皆様もご協力よろしくお願いいたします。

当山第三十三世 真元和尚晋山式・大祈禱会

いよいよ五月二十二日の晋山式が近づいてまいりました。かわいなお稚児さんの行列にも、たくさんのお申込をいただいております。

当日は鎮守摩利支天の点眼法要も行い、檀信徒の皆様のご福寿増長祈願、並びに東日本大震災の復興祈願も執り行います。春のよき日に、どうぞ天目山へお出かけください。大勢の方のお参りを心待ちにしております。

虚空蔵菩薩画像公開 拝観無料

ニューヨークから帰ってきました寺宝を、晋山式当日限定で特別公開いたします。



胸元に十字架を持つ世にも珍しい絵画です。

場所 大和小学校分校の教室

時間 正午〜午後二時 ※上記以外の時間ではご覧いただけません。

間ではご覧いただけません。

牡丹の見頃

昨年ご寄付いただいた百株の牡丹がまものなく見頃を迎えます。まだ小さな枝ではありますが、蕾はしっかりと成長しております。きつときれいな花を咲かせてくれるでしょう。